



【特別展示】ピューリツァー賞受賞作『安全への逃避』

澤田教一展

～ 懸命に生きる人々の、命の記録 ～

2017 7.29 (Sat) → 8.31 (Thu)

〔会場〕鯖江市まなべの館1階 展示ホール1・2

〔開館時間〕9時 - 17時 (入場は16時30分まで)

〔休館日〕月曜日・8月11日 (金・祝)

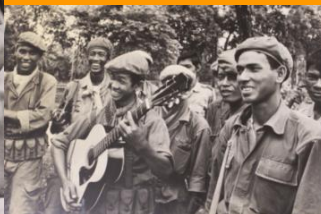
入場
無料

ぜひ、親子で
ご鑑賞ください。

主催：鯖江市・鯖江市教育委員会

協力：澤田サタ氏

社会福祉法人 あすなろ福祉会 あすなろ保育園 理事長 園長 廣部和夫氏
鯖江市写真連盟





写真という切り取った一瞬によって戦争を生々しく伝え、世界的に評価された澤田教一。彼は戦闘が激化するベトナムに赴き、34歳で殉職するまで撮影を続けました。

また澤田は、戦地の写真だけでなく、悲しみがはびこる日常と、懸命に生きる人々の姿も写し出しました。

なぜ、同じ人間が争わなければならないのか…

澤田が撮影した真実の数々は、人間の中にひそむ光と影を、改めて意識するきっかけともなるでしょう。

本企画展では、澤田教一が1965年から1970年までの間にインドシナで撮影した、ピューリッツアー賞受賞作『安全への逃避』（1965年）を含む作品の数々を展示します。



さわだ きょういち
澤田 教一

- 1936 青森県青森市に生まれる。
- 1955 米軍三沢基地内のカメラ店で働きながら、本格的に写真を撮り始める。
- 1961 プロのカメラマンを目指し上京。12月、UPI 通信社東京支局写真部に入社。
- 1965 UPI サイゴン支局にカメラマンとして赴任。9月、代表作となる『安全への逃避』を撮影。この写真で12月、第9回世界報道写真コンテスト第1位を受賞。

- 1966 『安全への逃避』を含む一連のベトナム戦争の写真でピューリッツアー賞を受賞。『泥まみれの死』、『敵をつれて』が、第10回世界報道写真コンテストで第1位、第2位を受賞。ベトナム戦争の写真でU.S.カメラ賞を受賞。
- 1968 2月、テト攻勢下のフエを撮影。9月、UPI 香港支局写真部長として転勤。
- 1970 UPI サイゴン支局に再び赴任。5月、カンボジアに取材に向かう途中、共産主義勢力の兵士に捕まり、8時間あまり拘束されるが無事生還。10月、カンボジア取材中、プノンペン近郊で襲撃され、34歳で死亡。死後、カンボジアを取材した一連の写真により、1971年のロバート・キャパ賞を受賞。



鯖江市 まなべの館

(お問合せ) 鯖江市教育委員会文化課
〒916-0024 福井県鯖江市長泉寺町1丁目9-20
TEL 0778-51-5999 FAX 0778-54-7123
Email SC-ManabeYakata@city.sabae.fukui.jp